

令和2年度 大阪府立茨木西高等学校 第3回 学校運営協議会（記録概要）

日時 令和3年2月17日(火)午後3時30分から午後5時

場所 大阪府立茨木西高等学校 会議室

協議会委員：

・委嘱委員（敬称略）

会長	山本 稔	学校法人 三幸学園	校長
副会長	谷 郁夫	ITコンサルタントふるもん	
	鷺塚 誠	茨木市立西陵中学校	校長
	山田 咲生子	代々木ゼミナール大阪南校	
	田原 正也	地域代表（欠席）	
	川端 保枝	保護者代表	

・校内委員

校長、教頭、事務長、首席2名 ※記録：首席

進路指導主事（欠席）、1年学年主任、2年学年主任、3年学年主任

開会に先立ち、配布資料の説明

1) 学校長挨拶

2) 近況報告

- ・第16回環境フォトコンテスト「わたしのまちの〇と×」入賞作品集
- ・「2020年度ぼうさい甲子園」にて「はばタン賞」受賞
- ・海外修学旅行の中止と国内修学旅行の実施について
- ・レインボーフェスティバル（体育祭の代替行事）について
- ・いばにしフェスタについて（文化祭の代替行事）について
- ・個人情報の取り扱いについて

3) 協議

① 令和2年度「学校教育自己診断」集計結果について

<生徒版> 全項目で肯定的な意見が増えた。

4月、5月の休校を経験し、学校生活の大切さやありがたみをより実感できたことが影響したか。

<保護者版> 回収率が10%上昇した。

「授業見学や懇談会、進路説明会などの活動に参加したことがある」の数値が下がった。コロナ感染症の影響でほとんど開催

できていない。

<教職員版> 回収率が100%になった。

数値が低下した項目もあったが、これをきちんと分析して次年度の改善につなげたい。

(運営協議会委員から出た意見)

- ・教職員版について、回収率を上げることで否定的な意見・数値が上がることは悪いことではない。
- ・教職員版についても数値が上がっている項目もある。
- ・生徒版の「学校生活についての先生の指導は納得できる。」の数値が高いが何か対策しているか。
⇒ 高圧的な指導でなく、教員が生徒に丁寧に指導している成果か。

② 令和2年度「学校経営計画及び学校評価」達成状況(案)について

<確かな学力>

(1) 生徒の学習支援

- ・授業規律を守る生徒の割合が91%で目標達成
- ・新学習指導要領への対応として、教員間でどのような生徒を育てたいかを話し合い、各教科で議論を重ね、新しいカリキュラムプランを作成した。
- ・自学自習の環境整備について、自習室・質問コーナーの利用者数が目標を大幅に上回った。

(2) グローバル人材の育成

- ・海外修学旅行が中止となり予定していたプログラムが実施できず、評価なしとした。

(3) 授業力向上

- ・授業に対する肯定的な回答率61%、ICT利用84%、オンライン授業実施率は100%で目標達成

<社会を切り開く力>

(1) キャリアサポート

- ・「適切な進路指導」肯定回答率73%と目標に届かなかった。進路説明会等が中止になったことが要因か。

<自律する力>

(1) 自律を促す教育活動

- ・IBANISHIガイドを使った新入生保護者向けの説明が、入学式が出来なかったため十分でなかったため、評価なしとした。
- ・ロッカー前遅刻は20%減少した。
- ・中庭の美化運動やベンチ作成を実施した。食堂が密を避けるために座席数

を減らしている。食堂前の広場にもテーブルベンチの設置を計画中。

(2) 安全安心な学校づくり

- ・「同和問題に関する講演会」がコロナの影響で延期が続いていたが、3月に実施する予定。
- ・「命の大切さ、社会のルール」に係るアンケートの肯定回答率78%と目標を大幅に上回った。
- ・スクールカウンセラーの相談件数が多くなった。悩みを抱えている生徒に丁寧に対応し、利用を促す。来年度のスクールカウンセラーの来校回数を増やすことを計画中。

<つながる力>

(1) HR活動、生徒会、部活動の活性化

- ・部活動は4・5月の休校措置の影響があり、1年生の加入率が低下したので目標に達していない。
- ・世界とつながる力について、海外修学旅行や語学研修が中止になったため評価なしとした。

(2) 小中及び地域との連携強化

- ・地元3中学との連絡交流会を3回実施した。出前講演会を4校の中学校で実施した。

(3) 保護者との連携強化

- ・保護者への情報伝達に係る肯定回答率95%。

<生徒に向き合う力>

- ・「茨西若手塾」はコロナ禍の対応に追われ時間と場所を設定できず、オンラインで実施した。

(運営協議会委員から出た意見・質問)

- ・自習室や質問コーナーはどのように活用されているか
⇒ 自習室は個人で学習するスペースで、パーティションで仕切られており、集中して学習できる。今年度は利用者が増加した。
質問コーナーは廊下の複数の場所にホワイトボードと机を設置して、教員が生徒の質問に答えており、ホワイトボードは3年生の卒業記念品として新調される予定である。
- ・オンライン授業の取り組みについて
⇒ 日本は海外に比べてICTの整備がかなり遅れているが、今年度のコロナの影響でようやく予算がつき進み始めた。オンライン授業が教師の負担増になってしまわないように留意している。紙でのアンケートをGoogleフォームに移行し、集計の簡素化につなげている。
- ・スクールカウンセラーについて

⇒ 茨木西高校が落ち着いた学校になるにつれて、今までとは違ったトラブルが出始めている。4・5月の休校により、人間関係をつくるころにつまずきがあり、相談件数の増加につながった可能性がある。

(会長より) 令和2年度の達成状況について、運営協議会として承認とする。

③ 令和3年度「学校計画及び学校評価(案)」について

(校長より令和2年度からの変更点について説明)

- ・授業力向上の項目で「アクティブラーニング」を「主体的・対話的で深い学び」に変更した。ICT活用推進では、新たに生徒一人一台の学習端末の有効利用を追加した。
- ・語学留学については実施が不透明なため、新たな取り組み(webミーティングなど)を計画する。
- ・若手塾を若手教員交流会に変更し、教職員の負担増加にならない育成システムを目指す。

④ 学校運営協議会の実施要項の改正について

- ・要項の中に、オンライン会議システムの利用についての項目を新たに追加した。これにより、条件を満たせばオンラインでの学校運営協議会の開催、出席を可能とした。

⑤ その他

- ・茨木西高校はアンケートの結果などからも全体的に上り調子である。さらに目玉として、オンライン授業の推進に力を入れていったらどうか。
- ・来年度は高校でも1人1台端末が配布されるのか。
⇒ 2学期以降になる見通し。
- ・教室で保管することになるのか。
⇒ 教卓の代わりとして充電保管庫が設置される計画がある。
- ・コロナウイルス感染症で講習に影響はあったか。
⇒ 例年長期休暇で講習を実施していたが、今年度は10日程しかなく、実施が難しかった。
- ・月当たりの時間外労働が80時間以上を超える教職員の人数の目標値が20人から25人に増えているのはなぜか。
⇒ 今年より校外での土日の部活動付添も時間外労働に加えることになり教員の時間外労働時間の増加が予想される。他の業務を見直して軽減につなげたい。

(事務長より) GIGAスクール構想の予算と今後の見通しについて

(首席より) 中学校や地域との連携について。次年度の校内行事、PTA活動の活性化について。

(3年主任より) 遅刻の減少と生徒の様子について。

(2年主任より) 11月実施の修学旅行報告と今後の進路指導について。

(1年主任より) 生徒の様子とICTを利用した家庭学習について。